

7/13

未来を担う子どもたちのために セルヴィールグループからの寄附



市内に複数の飲食店を出店しているセルヴィールグループから、子どもたちの成長に役立ててもらいたいとのことで、10万円の寄附がありました。

セルヴィールグループからは、平成30年度から寄附をいただいています。今回の寄附金については、市野沢小学校および奥沢小学校に配分し、活用させていただきました。

7/13

多くの方に知ってほしい

那須地方^{かしゅう}夏秋どりいちご生産協議会
表敬訪問



当協議会は、「いちご王国とちぎ」が生んだ夏秋どりいちご「なつおとめ」の産地育成に取り組んでいます。

「なつおとめ」は夏秋期(7月～11月)に収穫でき、しっかりとした甘みと酸味が特徴のいちごです。スイーツなどの食材として活用され、地元の洋菓子店やホテルなどからも高い評価を受けています。

市内で唯一栽培している株式会社アサヒファームの高木代表(協議会副会長)が、なつおとめの普及促進のため市長を訪問しました。

市史編さんだより vol.11

現代部会調査速報④ ～旧黒羽町・旧湯津上村の夏まつり～

問文化振興課 本4階 TEL(23)3135

今月号では旧黒羽町と旧湯津上村の夏まつりイベントについて振り返ります。

両町村とも、1980年代後半に全住民と全村民が踊りに参加できる夏まつりイベントが誕生します。

旧黒羽町では、昭和60年(1985)に町村合併30周年を記念して作られた「黒羽音頭」(遠藤実氏作曲)に合わせ、昭和61年(1986)に「くろばね夏まつり第1回流し踊り」が実施されます。当日は黒羽小学校でのセレモニー後、旧黒羽町役場までを、揃いの浴衣を着た約300名が踊り手として参加しています。

旧湯津上村では、平成元年(1989)10月の天狗王国独立宣言を契機に、翌年から「天狗王国ゆづかみ豊年踊り大会」が、平成5年(1993)からは「天狗王国夏まつり」が実施されています。当日は湯けむりふれあいの丘を会場に、昼間はファミコン大会などのアトラクション、夜は納涼盆踊り大会などがありました。

両町村の夏まつりイベントは、平成17年(2005)の市町村合併の後も継承され、8月15日のくろばね夏まつりでの花火大会、天狗王国夏まつりでの大田原よさこいフェスタとして現在に至っています。

(現代部会長 木下 義文)



くろばね夏まつり 第1回流し踊り
(昭和61年8月)



天狗王国ゆづかみ豊年踊り大会(仮装の部)
(平成2年8月)